



Visitor's Guide 2013

概要 2013

弘前大学大学院医学研究科
弘前大学大学院保健学研究科
弘前大学医学部
弘前大学医学部附属病院



Hirotsaki University
Graduate School of Medicine,
Graduate School of Health Sciences,
School of Medicine and Hospital
Guide for Visitors 2013

概要 2013

目次

弘前大学大学院医学研究科
弘前大学大学院保健学研究科
弘前大学医学部
弘前大学医学部附属病院

1. 沿革		01
2. 組織図		04
3. 職員	(1) 歴代研究科長・歴代医学部長・附属病院長 (2) 役職員 (3) 職員数	06 07 10
4. 大学院医学研究科 大学院保健学研究科 医学部	(1) 学生定員及び現員 イ. 学部学生 ロ. 大学院学生 (2) 学位授与数 (3) 外国人留学生数 (4) 解剖体数 イ. 系統解剖 ロ. 病理解剖 ハ. 法医学講座における解剖 (5) 図書・雑誌 (6) 附属脳神経血管病態研究施設 (7) 附属高度先進医学研究センター (8) 附属動物実験施設 (9) 国際交流協定	11 13 13 13 13 14 14 14 14
5. 附属病院	(1) 診療科別病床数 (2) 患者数 イ. 診療科別患者数 ロ. 救急患者数 ハ. 年度別患者数 (3) 臨床検査件数 (4) 放射線検査数及び治療件数 (5) 手術及び麻酔件数 (6) 分娩数及び出生児数 (7) 患者給食数(買上) (8) 処方枚数・処方件数・処方剤数・その他 (9) 栄養食事指導件数 (10) 先進医療承認状況 (11) 厚生労働大臣の定める施設基準等の届出状況	15 16 17 18 19 19 20 21 21 21 22
6. 平成24年度決算額等	(1) 医学研究科 イ. 収入・支出 ロ. 外部資金受入れ状況 (2) 保健学研究科 イ. 収入・支出 ロ. 外部資金受入れ状況 (3) 附属病院 イ. 収入・支出 ロ. 外部資金受入れ状況	24 25 26
7. 土地・建物	(1) 敷地面積 (2) 建物面積 イ. 医学部 ロ. 附属病院	27 27
8. 建物配置図		29

1. 沿革

- 昭和19年 4月 1日 青森医学専門学校設置(勅令第165号)
- 昭和20年 4月 1日 青森医学専門学校の附属医院として県立青森病院を移管
- 昭和20年 7月 28日 戦災のため、附属医院及び寄宿舎を焼失
- 昭和22年 3月 10日 青森医学専門学校校舎を弘前市に移転
- 昭和22年 3月 15日 青森医学専門学校の弘前市移転に伴い、市立弘前病院を附属医院として移管
- 昭和23年 2月 10日 弘前医科大学設置(政令第33号)
- 昭和24年 5月 31日 国立学校設置法により青森医学専門学校、弘前医科大学を包括、新制弘前大学医学部設置(法律第150号)**
弘前大学医学部設置に伴い、青森医学専門学校附属医院は医学部附属病院と改称
 開設科は、第一内科・第二内科・精神科・小児科・第一外科・第二外科・皮膚泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科(11診療科)
- 昭和26年 3月 31日 青森医学専門学校閉校
- 昭和26年 4月 1日 医学部開設**
 開設講座は、解剖学第一・解剖学第二・生理学・生化学・病理学第一・病理学第二・細菌学・薬理学・衛生学・法医学(10基礎講座)
 内科学第一・内科学第二・小児科学・精神科学・外科学第一・外科学第二・整形外科学・皮膚泌尿器科学・眼科学・耳鼻咽喉科学・産婦人科学・放射線医学(12臨床講座)
 附属看護学校設置(法律第150号)(昭和52年3月31日閉校)
- 昭和27年 3月 1日 附属病院整形外科設置(12診療科)
- 昭和28年 4月 1日 医学部生理学講座が生理学第一・生理学第二講座に分離開設(11基礎講座)
- 昭和30年 4月 1日 医学部進学課程設置
- 昭和32年 4月 1日 附属助産婦学校設置(法律第203号)(昭和50年4月21日閉校)
 附属病院精神科が神経精神科と改称
- 昭和33年 4月 1日 国立学校設置法の一部を改正する法律の公布により大学院(医学研究科)設置(法律第28号)**
 医学部公衆衛生学講座設置(12基礎講座)
 医学部精神科学講座が神経精神医学講座に、産婦人科学講座が産科婦人科学講座と改称
- 昭和35年 3月 31日 国立学校設置法の一部を改正する法律の公布により弘前医科大学廃止(法律第16号)
- 昭和37年 4月 1日 附属病院皮膚泌尿器科が皮膚科・泌尿器科に分離開設(13診療科)
 附属病院薬剤部設置
- 昭和37年 10月 1日 医学部皮膚泌尿器科学講座が皮膚科学・泌尿器科学講座に分離開設(13臨床講座)
- 昭和39年 4月 1日 附属病院事務部に管理課及び業務課設置
- 昭和40年 4月 1日 医学部麻酔学講座設置(14臨床講座)
 附属脳卒中研究施設(成因部門)設置
- 昭和41年 4月 1日 医学部寄生虫学講座設置(13基礎講座)
 附属病院麻酔科設置(14診療科)
 附属病院中央臨床検査部設置

▼大学院医学研究科・医学部医学科



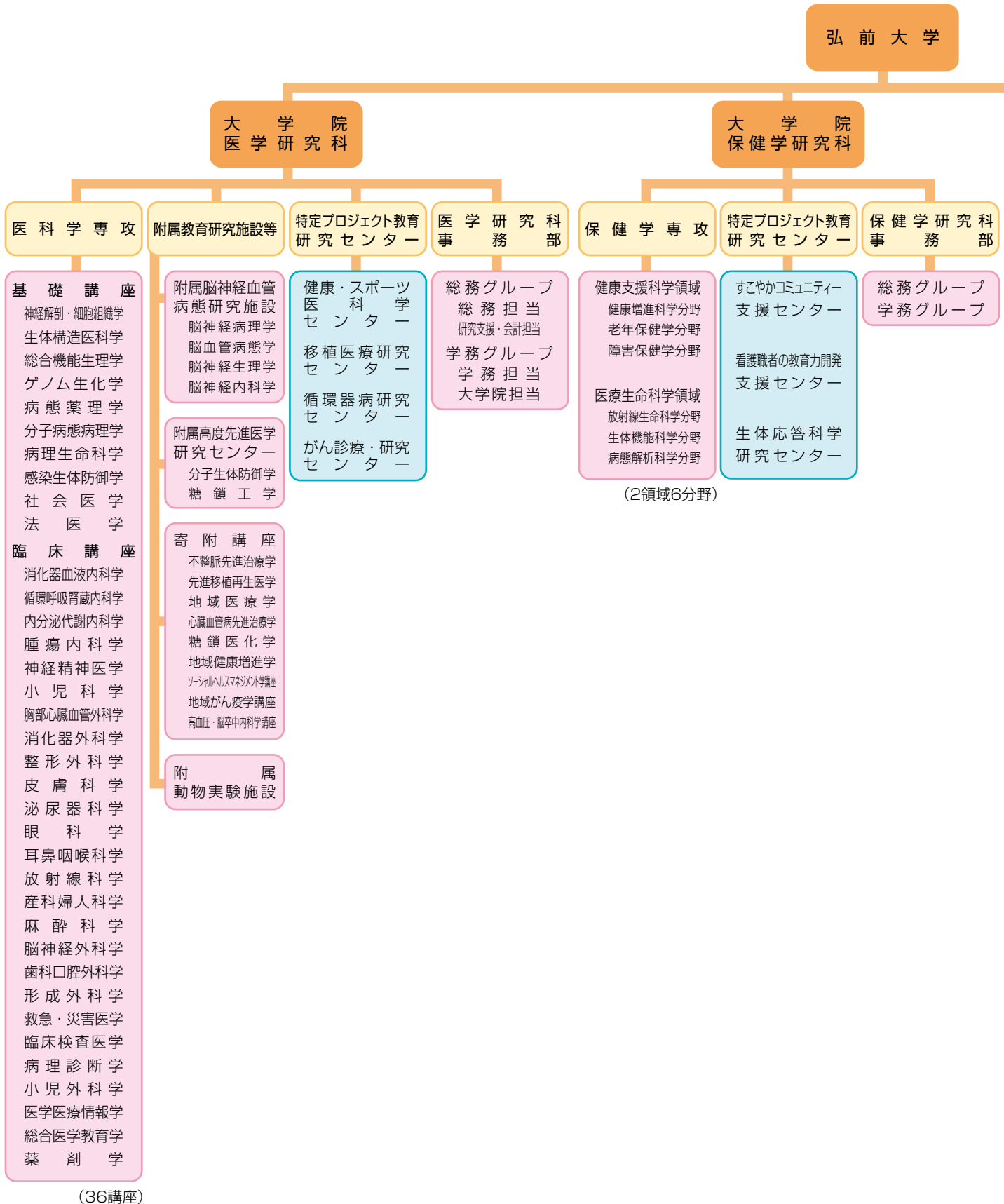
- 昭和42年 4月 1日 附属病院歯科診療科設置(15診療科)
附属病院中央手術部設置
附属脳卒中研究施設に病態生理部門設置(2部門)
附属衛生検査技師学校設置(法律第76号)(昭和53年3月31日閉校)
- 昭和42年 6月 16日 附属病院神経精神科が神経科精神科に、産婦人科は産科婦人科に改称
- 昭和44年 4月 1日 附属診療放射線技師学校設置(昭和54年3月31日閉校)
- 昭和45年 4月 1日 医学部内科学第三講座設置(15臨床講座)
附属病院第三内科設置(16診療科)
- 昭和47年 4月 1日 附属衛生検査技師学校を臨床検査技師学校に改組(昭和53年3月31日閉校)
- 昭和47年 5月 1日 医学部生化学講座が生化学第一、生化学第二講座に分離開設(14基礎講座)
医学部脳神経外科学講座設置(16臨床講座)
附属病院脳神経外科設置(17診療科)
- 昭和50年 10月 1日 附属病院歯科が歯科口腔外科と改称
附属病院中央材料部設置
- 昭和51年 4月 1日 附属病院中央放射線診療部設置
- 昭和51年 5月 10日 附属病院看護部設置
- 昭和52年 4月 1日 附属脳卒中研究施設にリハビリテーション部門設置(3部門)
- 昭和53年 4月 1日 附属病院事務部を3課(総務課・管理課・医事課)に改組
- 昭和53年 10月 1日 附属病院救急部設置
- 昭和54年 4月 1日 医学部歯科口腔外科学講座設置(17臨床講座)
附属動物実験施設設置
- 昭和54年 10月 1日 附属病院分娩部設置
- 昭和55年 4月 1日 附属病院理学療法部設置
- 昭和56年 4月 1日 附属病院輸血部設置
- 昭和57年 4月 1日 附属脳卒中研究施設に神経内科部門設置(4部門)
附属病院形成外科設置(18診療科)
- 昭和59年 4月 11日 附属病院集中治療部設置
- 昭和62年 5月 21日 医学部臨床検査医学講座設置(18臨床講座)
- 昭和63年 4月 8日 医学部事務部及び附属病院事務部が事務組織一元化により医学部事務部(総務課・管理課・学務課・医事課)に改組
- 平成 元年 5月 29日 附属脳神経疾患研究施設設置(神経病理部門・病態生理部門・リハビリテーション部門・臨床神経部門・遺伝子工学部門)(附属脳卒中研究施設の改組)
- 平成 3年 4月 12日 附属病院分娩部を附属病院周産母子センターに改組
- 平成 5年 4月 1日 附属病院病理部設置
- 平成 6年 8月 1日 特定機能病院承認(厚生省収健政第265号)
- 平成 7年 4月 1日 医学部形成外科学講座設置(19臨床講座)
- 平成 8年 3月 5日 医学部コミュニケーションセンター寄附
- 平成 8年 4月 1日 附属病院医療情報部設置

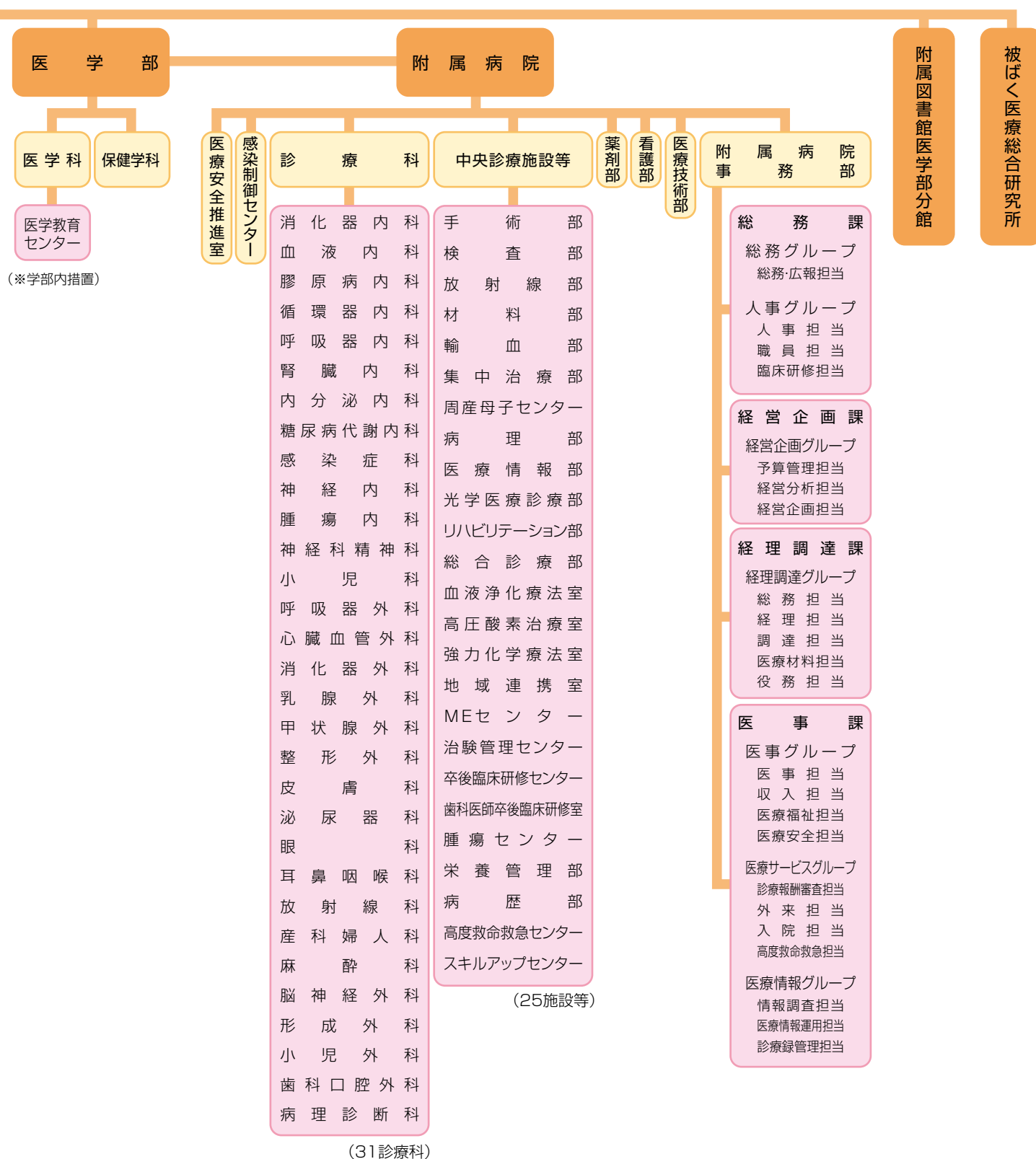


▲大学院医学研究科・医学部保健学科

- 平成 9年 4月 1日 医学部老年科学講座設置(20臨床講座)
附属病院小児外科設置(19診療科)
- 平成10年 4月 9日 附属病院光学医療診療部設置
- 平成11年 4月 1日 医学部臨床薬理学講座設置(21臨床講座)
附属脳神経血管病態研究施設設置(分子病態部門・脳血管病態部門・機能回復部門・神経統御部門・細胞工学部門)(附属脳神経疾患研究施設の廃止)
- 平成12年 10月 1日 医学部保健学科設置**
- 平成14年 4月 1日 理学療法部をリハビリテーション部に改組
- 平成15年 4月 1日 医学部救急・災害医学講座設置(22臨床講座)
附属病院総合診療部設置
- 平成16年 4月 1日 国立大学法人法により弘前大学医学部設置**
大学院(医学研究科)が5専攻(生理系・病理系・社会医学系・内科系及び外科系)から1専攻(医科学)に改組
- 平成17年 3月 31日 附属脳神経血管病態研究施設 細胞工学部門の廃止
- 平成17年 4月 1日 医学部衛生学講座と公衆衛生学講座を改組し、社会医学講座を設置(13基礎講座)
附属高度先進医学研究センター設置
大学院医学研究科が医学系研究科(医科学専攻・保健学専攻)に改組
附属病院神経内科設置(20診療科)
附属病院第一内科が消化器内科・血液内科・膠原病内科に、第二内科が循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科に、第三内科が内分泌内科・糖尿病代謝内科・感染症科に、第一外科が呼吸器外科・心臓血管外科に、第二外科が消化器外科・乳腺外科・甲状腺外科と改称
医学部事務部を医学部事務部(医学科総務グループ・医学科学務グループ・保健学科グループ)と医学部附属病院事務部(総務課・管理課・医事課・経営企画室)に分離改組
- 平成17年 4月 8日 ISO9001認証取得
- 平成18年 4月 1日 病院長専任(学長特別補佐)
- 平成18年 10月 1日 医学部細菌学講座と寄生虫学講座を改組し、感染生体防御学講座を設置(12基礎講座)
- 平成19年 1月 31日 地域がん診療連携拠点病院に指定
- 平成19年 2月 1日 医学部腫瘍内科学講座設置(23臨床講座)
- 平成19年 4月 1日 大学院医学系研究科を大学院医学研究科に改組し、部局化(36講座)
大学院保健学研究科を設置し、部局化(2領域6分野)
附属病院腫瘍内科設置(21診療科)
医学部事務部が医学研究科事務部(医学研究科総務グループ・医学研究科学務グループ)と保健学研究科事務部(保健学研究科総務グループ・保健学研究科学務グループ)に分離改組
- 平成20年 4月 1日 附属病院事務部を4課(総務課・経営企画課・経理調達課・医事課)に改組
- 平成22年 3月 12日 ISO9001:2008に改訂
- 平成22年 4月 1日 附属病院救急部を廃止し、附属病院高度救命救急センターを設置
- 平成22年 5月 1日 大学院医学研究科病理診断学講座設置(36講座)
- 平成22年 10月 1日 附属病院消化器内科・血液内科・膠原病内科が消化器内科・血液内科・膠原病内科に、循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科が循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科に、内分泌内科・糖尿病代謝内科・感染症科が内分泌内科・糖尿病代謝内科・感染症科に、呼吸器外科・心臓血管外科が呼吸器外科・心臓血管外科に、消化器外科・乳腺外科・甲状腺外科が消化器外科・乳腺外科・甲状腺外科と改称(30診療科)
- 平成24年 11月 21日 スキルアップセンター設置
- 平成25年 4月 1日 附属病院病理診断科設置(31診療科)
附属病院医療技術部設置

2. 組織図





3. 職員

(1) 歴代研究科長・医学部長・病院長

大学院医学研究科長

氏名	就任年月
佐藤 敬	平成19年4月
中路 重之	平成24年2月

大学院保健学研究科長

氏名	就任年月
對馬 均	平成19年4月

医学部長

氏名	就任年月
丸井 清泰	昭和24年5月
工藤 喬三	昭和28年8月(事務取扱)
工藤 喬三	昭和28年11月
佐藤 熙	昭和30年11月
片桐 主一	昭和37年2月
中村 勉	昭和37年5月
佐藤 光永	昭和41年5月
臼 渕 勇	昭和45年5月
松永 藤雄	昭和47年2月
大池 弥三郎	昭和50年4月
東野 修治	昭和53年2月
山口 富雄	昭和61年2月
吉田 豊	昭和63年2月
福士 主計	平成4年2月
吉田 豊	平成6年2月
遠藤 正彦	平成8年2月
菅原 和夫	平成14年2月
兼子 直	平成16年2月
佐藤 敬	平成18年2月
中路 重之	平成24年2月

附属病院長

氏名	就任年月
副島 廉治	昭和20年4月(青森医学専門学校)
丸井 清泰	昭和24年4月(青森医学専門学校)
副島 廉治	昭和24年6月
榎 哲夫	昭和26年6月
片桐 主一	昭和28年6月
杉山 萬喜蔵	昭和31年6月
榎 哲夫	昭和32年1月(事務取扱)
入野田 公穂	昭和32年3月
松永 藤雄	昭和34年6月
大池 弥三郎	昭和38年6月
石川 義信	昭和42年6月
大内 清太	昭和45年4月
栗田口 省吾	昭和48年4月
泉 幸雄	昭和51年4月
帷子 康雄	昭和54年4月
篠崎 達世	昭和57年4月
品川 信良	昭和60年4月
舟生 富壽	昭和62年4月
小野 慶一	平成元年4月
武部 和夫	平成3年4月
福島 裕	平成6年4月
今 充	平成7年4月
橋本 功	平成9年4月
原田 征行	平成11年4月
鈴木 唯司	平成13年4月
棟方 昭博	平成16年4月
花田 勝美	平成18年4月(専任)
藤 哲	平成24年4月(専任)

(2) 役職員

大学院医学研究科

医学研究科	教授	中廣	路田	重和	之美
副研究科	教授	若伊	林東	孝伸	一健
附属脳神経血管病態研究施設	教授	上野			哉
附属高度先進医学研究センター	教授				
附属動物実験施設	教授				

医科学専攻

● 基礎講座

神経解剖・細胞組織学講座	教授(兼)	下田	田	浩
生体構造医科学講座	教授	下田	田	浩
統合機能生理学講座	教授	藏	田	潔
グノム生化学講座	教授	土村	上	紀
病態薬理学講座	教授	八木	橋	学
分子病態病理学講座	教授	鬼中	島	六
病理生命科学講座	教授(併)	中	根	宏
感染生体防御学講座	教授	中	路	夫
社会医学講座	教授	黒	田	之
法医学講座	教授			人

● 臨床講座

消化器血液内科学講座	教授	福奥	田	眞	作
循環呼吸腎臓内科学講座	教授	大佐	村	眞	謙
内分泌代謝内科学講座	教授	中	門	温	彦
腫瘍内科学講座	教授	伊	藤	和	朗
神経精神医学講座	教授	福	村	悦	夫
小児科学講座	教授	袴	田	幾	一
胸部心臓血管外科学講座	教授	石	田	健	之
消化器外科学講座	教授	澤	橋	恭	輔
整形外科科学講座	教授	大	村	大	力
皮膚科学講座	教授	中	山		満
泌尿器科学講座	教授	新高	澤	秀	一
眼科科学講座	教授	水	川	良	尋
耳鼻咽喉科学講座	教授	廣	井	英	樹
放射線科学講座	教授	大	沼	和	美
産科婦人科学講座	教授	木	田	洋	揮
麻酔科学講座	教授	漆	熊	博	人
脳神経外科学講座	教授	浅	村	聡	志
歯科口腔外科学講座	教授	萱	館	広	靖
形成外科科学講座	教授	黒	利		之
救急・災害医学講座	教授	袴	場		頭
臨床検査医学講座	教授(兼)	佐	瀨	健	一
病理診断学講座	教授	加	田	賀	広
小児外科科学講座	教授	早	木	博	之
小児学講座	教授		藤		誠
医学総合	教授		狩		
医薬学	教授				
医療学	教授				
薬学	教授				

附属教育研究施設 等

● 附屬腦神經血管病態研究施設

座座座座座
講講講講講
學學學學學
理態理科
病病生內
經管經經
神血神神
腦腦腦腦

一淳哉夫
孝忠伸幹
林泉野林
若今上東海
授授授授授
教教教教教

● 附属高度先進医学研究センター

分 子 生 体 防 御 学 講 座
糖 鎖 工 学 講 座

教授	伊東健
教授(兼)	伊東健

● 寄附講座

不	整	脈	先	進	治	療	學	講	座
先	進	移	植	再	生	醫	學	講	座
地	域	血	醫	療	進	學	講	座	座
心	臟	鎖	病	先	化	療	學	講	座
糖	域	健	醫	化	進	學	講	座	座
地	域	ル	康	ス	メ	ン	ト	講	座
ソ	一	が	ル	マ	ネ	ジ	学	講	座
地	域	・	ス	卒	疫	内	学	講	座
高	血	圧	脳	卒	中	内	学	講	座

眞	山田村藤路路路村	大福奥遠中中中奥	授(併) 授(併) 授(併) 授 授(併) 授(併) 授(併) 授(併)	教 任 教	教 教 教 特 教 教 教 教 教	力作謙彦之之謙
---	----------	----------	---	-------------	---	---------

事務部

事務長 齋藤伸雄

大学院保健学研究科

保 健 學 研 究 科 長
副 研 究 科 長

均幸 和 馬田 對木 授授 教教

健康支援科学領域

健康増進科学分野

[illegible]

医療生命科学領域

放射線生命科学分野

教教教教教教教教教教教教教教教教	授授授授授授授授授授授授授授授授	柏中細真齋松中伊丹千高渡	倉川川谷藤本村藤藤葉見邊 里	幾公洋 陽光敏巧雄正秀	一 比	郎一郎靖子古也一介司樹純
------------------	------------------	--------------	-------------------	-------------	-----	--------------

生 体 機 能 科 学 分 野

病態解析科学分野

事務部

事務長 長谷川 直 生

医学部

医	学	部	長	教	授	中	路	重	之
副	学	部	長	教	授	廣	田	和	美
副	学	部	長	教	授	木	田		幸
附	属	医	学	部	分	藏	田		潔
属	図	学	部	分	館				
館	書	部	分	館					

医学科

医	学	科	長	教	授	中	路	重	之
副	学	科	長	教	授	廣	田	和	美

保健学科

保	健	学	科	長	教	授	對	馬		均
副	学	科	長	教	授	木	田	和	幸	

附属病院

附	属	病	院	長	(專任)	藤	田	眞	哲
副	病	院	補	長	教	福	熊	洋	作
副	病	院	補	長	教	大	藤	博	揮
病	院	院	補	佐	授	加	村	大	之
病	院	院	補	佐	授	澤	山	朱	輔
病	院	院	補	佐	授	小	林	康	力
					看護部長	福	井	広	実
					室長(併)准教授	萱	場		三
					センター長(併)教授				之

- 医療安全推進室
- 感染制御センター
- 診療科

消	化	器	内	科	科長(併)教授	福	田	眞	作
血	液	病	内	科	科長(併)教授	福	田	眞	作
膠	原	器	内	科	科長(併)教授	福	田		謙
循	環	器	内	科	科長(併)教授	奥	村		謙
呼	吸	泌	内	科	科長(併)教授	奥	村		謙
腎	分	代	内	科	科長(併)教授	大	門		眞
内	尿	病	謝	科	科長(併)教授	大	門		眞
糖		染	症	科	科長(併)教授	大	門		眞
感		経	内	科	科長(併)教授	東	海	幹	夫
腫		瘍	内	科	科長(併)教授	佐	藤	和	温
神	経	科	精	科	科長(併)教授	中	村	悦	彦
小	吸	器	管	科	科長(併)教授	伊	藤	幾	朗
呼	臟	血	外	科	科長(併)教授	福	田	幾	夫
心	化	器	外	科	科長(併)教授	福	田	健	一
消	状	腺	外	科	科長(併)教授	袴	田	健	一
乳		腺	外	科	科長(併)教授	袴	田	健	一
甲	形	膚	外	科	科長(併)教授	袴	田	恭	之
整	尿		器	科	科長(併)教授	石	村	大	輔
皮			器	科	科長(併)教授	澤	山		力
泌	鼻	咽	喉	科	科長(併)教授	大	川		満
眼	射	婦	線	科	科長(併)教授	中	井	秀	一
耳	科		人	科	科長(併)教授	新	沼	良	尋
放				科	科長(併)教授	高		英	樹
産				科	科長(併)教授	水			

(平成25年4月1日現在)

區 分	大学院医学研究科	大学院保健学研究科	附属病院	計
教 授	37	29	0	66
准 教 授	33	15	10	58
講 師	19	19	34	72
助 教	72	25	55	152
助 手	12	7	22	41
医 員 ・ 研 修 医	0	0	116*	116*
小 計	173	95	237	505
病 院 長	—	—	1	1
事 務 職 員	15	7	66	88
技 術 職 員	5	1	639	645
小 計	20	8	705	734
合 計	193	103	943	1,239

※研修医16名を含む。

4. 大学院医学研究科・大学院保健学研究科・医学部

(1) 学生定員及び現員

イー a 学部学生(医学科)

(平成25年5月1日現在)

区分		学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	研究生
医学科	定員	107	105	105	105	100	90	712		
			20	20	20	20	20			
	現員	108 (40)	111(43)	118(38)	106(28)	95(37)	91(20)	713 (220)	3 (1)	
			0	21(1)	22(4)	21(6)	20(3)			

(注1) 2～6年次における、定員の下段の数字は編入学定員を表し、現員の下段の数字は、編入学学生数を表す。

(注2) ()内数字は、女子を内数で示す。

イー b 学部学生(保健学科)

(平成25年5月1日現在)

専攻別		学 年	保 健 学 科				合 計
			1 年	2 年	3 年	4 年	
看護学専攻	定 員		80	80	80	80	340
					10	10	
	現 員		80 (67)	80 (62)	79(65)	86(73)	339 (280)
					6(6)	8(7)	
放射線技術科学専攻	定 員		40	40	40	40	170
					5	5	
	現 員		40 (15)	40 (10)	39(9)	43(11)	163 (46)
					0	1(1)	
検査技術科学専攻	定 員		40	40	40	40	170
					5	5	
	現 員		40 (23)	40 (32)	40(26)	39(23)	161 (105)
					1(1)	1	
理学療法学専攻	定 員		20	20	20	20	90
					5	5	
	現 員		20 (12)	21 (7)	20(7)	27(13)	88 (39)
					0	0	
作業療法学専攻	定 員		20	20	20	20	90
					5	5	
	現 員		20 (14)	20 (12)	20(15)	21(12)	81 (53)
					0	0	
合 計	定 員		200	200	200	200	860
					30	30	
	現 員		200 (131)	201 (123)	198(122)	216(132)	832 (523)
					7(7)	10(8)	

(注1) 3年次、4年次定員の下段の数字は編入学定員を表し、現員の下段の数字は編入学学生数を表す。

(注2) ()内数字は、女子を内数で示す。

□-a 大学院学生[医学研究科医科学専攻]

(平成25年5月1日現在)

領 域			学 年				研究生
			1年	2年	3年	4年	
医学研究科	分子遺伝情報科学	現員	0	0	1	0	6 (2)
	脳神経科学	現員	3 (2)	9 (4)	5 (1)	13 (4)	
	腫瘍制御科学	現員	8 (1)	11 (3)	12 (6)	13 (3)	
	循環病態科学	現員	6 (1)	0	3	6 (1)	
	機能再建・再生科学	現員	5 (1)	6	4 (1)	4	
	総合医療・健康科学	現員	7 (2)	8 (2)	14 (4)	26 (10)	
	感覚統合科学	現員	7 (3)	0	1	2	
	病態制御科学	現員	8 (4)	9 (3)	7 (1)	10 (3)	
	成育科学	現員	2 (2)	4 (1)	2 (2)	5 (1)	
	合 計	定員	50	50	50	50	6 (2)
		現員	46 (16)	47 (13)	49 (15)	79 (22)	

(注) ()内数字は、女子を内数で示す。

□-b 大学院学生[保健学研究科(博士前期課程)]

(平成25年5月1日現在)

領 域			学年
			4年
医学系研究科	脳神経科学	現員	1 (1)
	合 計	現員	1 (1)

※医学系研究科は留年のため現員のみ計上

領域		学年		
		1年	2年	小計
看護学	現員	4 (4)	7 (5)	11 (9)
生体情報科学	現員	3 (2)	6 (0)	9 (2)
生体機能科学	現員	1 (0)	3 (1)	4 (1)
総合リハビリテーション科学	現員	19 (8)	9 (3)	28 (11)
合 計	定員	25	25	50
	現員	27 (14)	25 (9)	52 (23)

□-c 大学院学生[保健学研究科(博士後期課程)]

(平成25年5月1日現在)

領域		学年		
		1年	2年	3年
健康支援科学	現員	6 (3)	5 (2)	12 (6)
医療生命科学	現員	8 (3)	3 (1)	3 (1)
合 計	定員	9	9	9
	現員	14 (6)	8 (3)	15 (7)

(注) ()内数字は、女子を内数で示す。

(2) 学位授与数

(平成25年3月31日現在)

種 類	授 与 数					
	平成24年度			新制累計		旧制総計
	課程修了	論文審査	計	課程修了	論文審査	
博 士(医 学)	46	2	48	1,803	880	469
				2,683		
修 士(保健学)	22	—	22	166	—	
				166		
博 士(保健学)	8	0	8	34	1	
				35		

(3) 外国人留学生数

(平成25年3月31日現在)

国 籍	学部学生		大学院学生		研究生等		合 計	
	国費	私費	国費	私費	国費	私費	国費	私費
ケ ニ ア			1				1	
中華人民共和国				6				6
大 韓 民 国		1		1				2
マ レ ー シ ア		1						1
ミ ャ ン マ ー		1						1
合 計		3	1	7			1	11

(注) ()内数字は、女子を内数で示す。

(4) 解剖体数

イ 系統解剖

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
解 剖 体 数	33	33	34	41	27	27
収 集 体 数	34	23	36	32	36	48

ロ 病理解剖

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
解 剖 体 数	26	27	21	28	20	13

ハ 法医学講座における解剖

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
法 医 解 剖	140	87	71	1	146	204

(5) 図書・雑誌(医学部分館)

(平成25年3月31日現在)

図 書		合 計	雑 誌		合 計
和漢書	洋 書		和雑誌	洋雑誌	
99,143 冊	74,367 冊	173,510 冊	4,120 種	2,509 種	6,629 種

(6) 附属脳神経血管病態研究施設

本施設は脳卒中の基礎及び臨床研究と、その実地応用を目的に昭和40年に設置された「脳卒中研究施設」に始まる。当初、成因部門(昭和40年)と病態生理部門(昭和42年)の基礎2部門が設置され、その後、リハビリテーション部門(昭和52年)、神経内科部門(昭和57年)の2部門が加えられた。平成元年に存続期限10年の「脳神経疾患研究施設」に改組され、神経病理、病態生理、リハビリテーション、臨床神経の4部門に加え、遺伝子工学部門(客員)が設置された。広く脳神経疾患の成因・病態の解明、診断法の確立、治療・社会復帰促進などに関する研究の推進を目指した。

平成11年に現行の施設となり、分子病態、脳血管病態、機能回復、神経統御の各部門と細胞工学部門(客員)から構成されることになった。平成17年には細胞工学部門を廃止し、新たに設置された高度先進医学研究センターにその機能を発展的に引き継ぎ、本施設は4部門構成となった。平成19年4月の大学院部局化に伴い、本施設は医学研究科の附属施設となり、各部門も大学院講座として名称を改めた。現在、各講座の主たる研究課題は、脳神経病理学講座が脳神経疾患の病理診断・病態メカニズムの解析、脳血管病態学講座が脳血管障害の分子機構の解明、脳神経生理学講座が脳スライスパッチクランプや細胞イメージングを用いた脳の生理機能並びに神経傷害時の機能解析、脳神経内科学講座が神経変性疾患や認知症の病態解明と治療法の開発に関する研究である。

(7) 附属高度先進医学研究センター

本センターは専任の研究部門と共同研究施設としての機能を備え、分子生物学を基盤とした基礎医学と臨床医学の融合的研究を推進する目的で平成17年に設置された。専任の研究グループは自ら先進的研究を進めるとともに、高度な分子生物学的研究技術をもって、同センターを共同施設として利用する全学の他の研究グループとの共同研究や研究支援を実施する。研究は、酸化ストレスに対する生体の防御機構の解析と酸化ストレスが疾患形成に果たす役割の解析が中心である。

(8) 附属動物実験施設

本施設は、実験動物の飼養管理の充実を図り、精度の高い動物実験による高度な研究・教育の推進を目指し、昭和54年4月に開設された。管理部・中動物部・小動物部及び特殊動物部(遺伝子改変動物・感染動物等)からなり、医学研究科のみならず、全学共同利用の施設である。

(9) 国際交流協定

締結大学	国名	締結年月日
テネシー大学保健科学センター	アメリカ合衆国	昭和57年5月19日
中国医科大学	中華人民共和国	平成17年10月25日
ストックホルム大学放射線防護研究センター	スウェーデン王国	平成25年3月6日



◀附属動物実験施設



◀附属病院航空写真

5. 附属病院

(1) 診療科別病床数

(平成25年4月1日現在)

診療科名	実 在 病 床 数							
	差 額 病 床					重症 加算	普通	計
	① 11,550円	② 6,300円	③ 5,250円	④ 4,200円	⑤ 1,050円			
消化器内科／血液内科／膠原病内科	1	2				1	33	37
循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科	1		2	1		4	41(51)	49(59)
内分泌内科／糖尿病代謝内科／感染症科	1		2			3	30	36
神 經 内 科						3	6	9
腫 瘍 内 科						1	9	10
神 経 科 精 神 科							41	41
小 児 科						4	33	37
呼 吸 器 外 科／心 臓 血 管 外 科			3	2		5	15	25
消化器外科／乳腺外科／甲状腺外科			2	2		5	36	45
整 形 外 科			2	1		3	34	40
皮 膚 科				1		1	10	12
泌 尿 器 科			2	1		2	32	37
眼 科			2	2			32	36
耳 鼻 咽 喉 科			2			2	32	36
放 射 線 科				1			16	17
産 科 婦 人 科		2	2		4	1	29	38
麻 酔 科						2	4	6
脳 神 経 外 科			1	1		5	20	27
形 成 外 科			1			2	12	15
小 児 外 科				1		1	4	6
歯 科 口 腔 外 科							10	10
感 染 症 病 床							6	6
共 通 病 床				2			4	6
R I C U							5	5
I C U							10	10
I C T U							4	4
N I C U							6	6
G C U							10	10
高 度 救 命 救 急 セ ン タ ー							20(10)	20(10)
合 計	3	4	21	15	4	45	544	636

※1

※2

※1 ()内の病床数は、高度救命救急センターの後方病床10床を含む病床数。

※2 ()内の病床数は、後方病床10床を除く病床数。

(2) 患者数

イ 診療科別患者数

(平成24年度)

診療科	入院患者数		外来患者数	
	患者延数	1日平均患者数	患者延数	1日平均患者数
消化器内科／血液内科／膠原病内科	11,135 人	30.5 人	27,181 人	110.9 人
循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科	21,334	58.4	26,007	106.2
内分泌内科／糖尿病代謝内科／感染症科	10,475	28.7	25,921	105.8
神 経 内 科	2,800	7.7	7,165	29.2
腫 瘍 内 科	3,575	9.8	6,227	25.4
神 経 科 精 神 科	9,769	26.8	27,051	110.4
小 児 科	13,385	36.7	7,840	32.0
呼吸器外科／心臓血管外科	9,413	25.8	5,028	20.5
消化器外科／乳腺外科／甲状腺外科	15,593	42.7	14,142	57.7
整 形 外 科	15,968	43.7	38,482	157.1
皮 膚 科	4,473	12.3	15,755	64.3
泌 尿 器 科	13,242	36.3	17,114	69.9
眼 科	8,202	22.5	24,577	100.3
耳 鼻 咽 喉 科	11,321	31.0	14,406	58.8
放 射 線 科	6,962	19.1	45,992	187.7
産 科 婦 人 科	12,359	33.9	24,333	99.3
麻 酔 科	959	2.6	17,228	70.3
脳 神 経 外 科	10,246	28.1	6,865	28.0
形 成 外 科	4,683	12.8	4,055	16.6
小 児 外 科	1,967	5.4	2,142	8.7
総 合 診 療 部	—	—	468	1.9
高 度 救 命 救 急 セ ン タ ー	698	1.9	560	2.3
歯 科 口 腔 外 科	3,468	9.5	11,935	48.7
合 計	192,027	526.1	370,474	1,512.1

外来診療実日数245日

ロ 救急患者数

(平成24年度)

月 別	2012 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2013 1月	2月	3月	合計
患者数(人)	398	401	365	361	402	375	379	429	462	366	306	356	4,600

ハ 年度別患者数

区 分 年度別	入 院					外 来	
	病床数	患者数	1日平均	稼働率	平均在院日数	患者数	1日平均
平成20年度	618 床	196,770 人	539.1 人	87.2 %	19.7 日	350,067 人	1,440.6 人
平成21年度	618	194,636	533.2	86.3	18.7	357,674	1,478.0
平成22年度	636	196,616	538.7	84.8	18.0	361,296	1,493.0
平成23年度	636	194,669	531.9	83.6	17.3	370,401	1,518.0
平成24年度	636	192,027	526.1	82.7	16.9	370,474	1,512.1

(3) 臨床検査件数

(平成24年度)

区 分		入 院	外 来	合 計
一 般 検 査		54,698 件	48,065 件	102,763 件
血 液 学 的 検 査		192,168	200,183	392,351
生 化 学 的 検 査		1,026,601	1,051,369	2,077,970
内 分 泌 学 的 検 査		19,015	62,687	81,702
免 疫 学 的 検 査		98,721	131,927	230,648
微 生 物 学 的 検 査		24,709	8,571	33,280
病 理 学 的 検 査		5,774	8,231	14,005
生 理 機 能 検 査	循 環 器 機 能 検 査	11,013	10,954	21,967
	脳・神経機能検査	430	2,480	2,910
	呼 吸 機 能 検 査	5,883	8,792	14,675
	前庭・聴力機能検査	456	6,343	6,799
	眼 科 関 連 機 能 検 査	21,494	76,857	98,351
	超 音 波 検 査	6,087	13,174	19,261
	そ の 他	48,319	4,404	52,723
	小 計	93,682	123,004	216,686
採 血 ・ 採 液 等		3,506	71,904	75,410
内 視 鏡 検 査		933	6,815	7,748
そ の 他		299	2,961	3,260
合 計		1,520,106	1,715,717	3,235,823



▲外来診療棟1階がん診療相談支援室、がんサロン、肝疾患相談センター



▲ドクターカー

(4) 放射線検査数及び治療件数

(平成24年度)

大分類	中分類	入院患者数(人)	外来患者数(人)	合計
一般撮影(単純)	呼吸器・循環器	9,660	18,491	28,151
	消化器	2,769	1,936	4,705
	骨部	2,732	12,685	15,417
	軟部	59	344	403
	歯部	336	2,859	3,195
	ポータブル撮影	13,499	1,282	14,781
	手術室撮影	2,700	3	2,703
	特殊撮影			
	その他	50	177	227
一般撮影(造影)	単純造影撮影	173	311	484
	呼吸器	43	51	94
	消化器	565	530	1,095
	泌尿器	177	476	653
	瘻孔造影	237	15	252
	肝臓・胆嚢・膵臓造影	83	57	140
	婦人科骨盤臓器造影	1	115	116
	非血管系IVR	49	13	62
	その他	349	15	364
血管造影検査	頭頸部血管造影(検査)	287		287
	頭頸部血管(IVR)	104		104
	心臓カテーテル法(検査)	788		788
	心臓カテーテル法(IVR)	896	1	897
	胸・腹部血管造影(検査)	64		64
	胸・腹部血管造影(IVR)	214	1	215
	四肢血管造影(検査)	4		4
	四肢血管造影(IVR)	12		12
	その他	6		6
X線CT検査	単純CT検査	2,893	4,626	7,519
	造影CT検査	2,473	7,582	10,055
	特殊CT検査(管腔描出を行った場合)			
	その他			
MRI検査	単純MRI検査	898	3,245	4,143
	造影MRI検査	765	1,810	2,575
	特殊MRI検査(管腔描出を行った場合)			
	その他			
間接撮影(単純)	呼吸器・循環器			
	その他			
核医学検査 (in-vivo検査) (体外からの計測に よらない諸検査等)	SPECT	143	204	347
	全身シンチグラム	185	308	493
	部分(静態)シンチグラム	15	72	87
	甲状腺シンチグラム	4	44	48
	部分(動態)シンチグラム	19	53	72
	ポジトロン断層撮影	3	1,671	1,674
	循環血液量測定			
	血球量測定			
	赤血球寿命・吸収機能			
	血小板寿命・造血機能			
	その他			
核医学検査(in-vitro検査)	院内in-vitro検査			
骨塩定量	骨塩定量	132	399	531
超音波検査	超音波検査			
その他	その他			
放射線治療	X線表在治療			
	コバルト60遠隔照射			
	ガンマーナイフ定位放射線治療			
	高エネルギー放射線照射	9,852	6,259	16,111
	術中照射			
	直線加速器定位放射線治療	42		42
	全身照射	4		4
	放射線粒子照射			
	密封小線源、外部照射			
	内部照射	78	6	84
	血液照射	11		11
	温熱治療			
	その他	90	13	103
治療計画	治療計画	550	327	877

(5) 手術及び麻酔件数

(平成24年度)

区 分	手 術 件 数						麻 酔 件 数		
	0～ 999点	1,000～ 2,999点	3,000～ 4,999点	5,000～ 9,999点	10,000 点以上	計	0～ 999点	1,000点 以 上	計
消化器内科／血液内科／膠原病内科		2	46	137	240	425		1	1
循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科	2	14	145	107	879	1,147	142	15	157
内分泌内科／糖尿病代謝内科／感染症科									
神 経 内 科		2				2	34		34
腫 瘍 内 科	1	2		3	20	26			
神 経 科 精 神 科									
小 児 科			5	8	15	28	448	16	464
呼吸器外科／心臓血管外科	8	16	321	69	625	1,039	30	493	523
消化器外科／乳腺外科／甲状腺外科	12	32	4	48	675	771	302	646	948
整 形 外 科	3	79	81	83	712	958	196	694	890
皮 膚 科	36	112	31	20	149	348	2	46	48
泌 尿 器 科	9	19	62	23	385	498	168	374	542
眼 科	25	125	40	30	755	975	562	119	681
耳 鼻 咽 喉 科	65	183	111	80	222	661	6	432	438
放 射 線 科		2		5	174	181	27	1	28
産 科 婦 人 科	16	123	104	9	333	585	132	326	458
麻 酔 科					1	1	36	10	46
脳 神 経 外 科	15	26	3	1	356	401	3	228	231
形 成 外 科	61	120	98	110	136	525	1	228	229
小 児 外 科	1	7	2	21	176	207	30	201	231
総 合 診 療 部									
高度救命救急センター	7	12	13	1	16	49		24	24
歯 科 口 腔 外 科	401	28	6	18	70	523	95	105	200
合 計	662	904	1,072	773	5,939	9,350	2,214	3,959	6,173

※1 手術及び麻酔件数は、手術部以外の分を含んだ件数である。

※2 麻酔件数には、硬膜外麻酔後における局所麻酔剤の持続的注入、低体温療法、神経ブロックを含まない。

(6) 分娩数及び出生児数

平成22年度				平成23年度				平成24年度			
超低出生 体重児	極低出生 体重児	低出生 体重児	新生児	超低出生 体重児	極低出生 体重児	低出生 体重児	新生児	超低出生 体重児	極低出生 体重児	低出生 体重児	新生児
0	2	47	262	0	3	36	265	1	2	50	258
正常分娩	異常分娩	計		正常分娩	異常分娩	計		正常分娩	異常分娩	計	
215	97	312		202	106	308		197	122	319	

※1 体重による新生児区分

超低出生体重児＜1,000g≤極低出生体重児＜1,500g≤低出生体重児＜2,500g≤新生児

※2 分娩数には死産数を含むが、出生児数には含まない。

※3 異常分娩は吸引分娩・鉗子分娩・骨盤位分娩・帝王切開・死産

※4 多胎の分娩はそれぞれの児についての分娩様式を数えた。

(7) 患者給食数(買上)

(平成24年度)

区 分			給 食 数		
			特別食の加算のできるもの	そ の 他	計
一 般 食				239,013	239,013
特 別 食	腎臓病食	腎 炎 食	736	91	827
		ネ フ ロ ー ゼ 食	1,716		1,716
		腎 不 全 食	12,635		12,635
		透 析 食			
	妊 娠 高 血 圧 症 候 群 食		132	1,455	1,587
	高 血 圧 食			6,042	6,042
	心 臓 食		34,864	272	35,136
	肝 臓 食	肝 炎 食	1,433	135	1,568
		肝 硬 変 食	2,130		2,130
	糖 尿 病 食		63,250		63,250
	胃 潰 瘍 食		6,701	3,932	10,633
	術 後 食		5,815	7,684	13,499
	濃 厚 流 動 食				
	治 療 乳			786	786
	検 査 食			1,005	1,005
	フ ェ ニ ール ケ ト ン 尿 食				
	脾 臓 食		1,207	162	1,369
	痛 風 食		35	2	37
	脂 質 異 常 症 食		4,155		4,155
	そ の 他		674	61,655	62,329
計		135,483	83,221	218,704	
合 計			135,483	322,234	457,717



◀外来診療棟1階中央待合ホール

(8) 処方枚数・処方件数・処方剤数・その他

区 分		年度別	平成22年度			平成23年度			平成24年度		
			枚 数	件 数	剤 数	枚 数	件 数	剤 数	枚 数	件 数	剤 数
調 剤 薬	入 院		90,952	178,854	1,448,854	89,402	153,436	1,458,996	88,541	154,398	1,327,150
	外 来		26,685	73,113	1,503,396	14,451	40,695	1,196,205	14,841	42,343	1,236,005
	計		117,637	251,967	2,952,250	103,853	194,131	2,655,201	103,382	196,741	2,563,155
調 剤 薬 (麻 薬)	入 院		2,607	2,607	15,042	2,854	2,854	15,196	4,149	4,149	26,588
	外 来		2,073	2,073	17,560	1,586	1,586	12,795	405	405	7,480
	計		4,680	4,680	32,602	4,440	4,440	27,991	4,554	4,554	34,068
注 射 薬	入 院		139,781	412,119	915,000	137,655	401,630	888,001	136,123	348,149	757,565
	外 来		17,486	21,397	35,979	18,579	22,941	38,204	17,911	19,252	31,070
	計		157,267	433,516	950,979	156,234	424,571	926,205	154,034	367,401	788,635
注 射 薬 (麻 薬)	入 院		16,224	16,224	27,900	15,299	15,299	29,191	16,100	16,100	31,301
	外 来		248	248	426	218	218	300	233	233	349
	計		16,472	16,472	28,326	15,517	15,517	29,491	16,333	16,333	31,650
血液製剤 (注射薬)	入 院		3,853	5,259	8,706	4,069	5,326	8,757	3,617	4,710	7,378
	外 来		425	487	906	520	628	1,021	441	589	866
	計		4,278	5,746	9,612	4,589	5,954	9,778	4,058	5,299	8,244
薬 剤 管 理 指 導 件 数			2,795			2,598			2,610		
薬剤管理退院時指導件数			1			2			0		
T P N 調 製 件 数			1,510			778			1,108		
薬 剤 情 報 提 供 件 数			7,710			7,048			7,081		
外来抗癌剤調製件数			16,789			21,040			19,045		
入院抗癌剤調製件数			2,840			2,666			2,471		

(9) 栄養食事指導件数

(平成24年度)

区 分	件 数		
	個 別	集 団	計
外 来	304	142	446
入 院	872	1,265	2,137
計	1,176	1,407	2,583

(10) 先進医療承認状況

区 分	承 認 年 月 日
十二種類の腫瘍抗原ペプチドによるテラーメイドのがんワクチン療法	平成23年11月1日
実物大臓器立体モデルによる手術支援	平成24年6月1日
(他の保険医療機関に対して検体の採取以外の業務を委託して実施する保険医療機関) 急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	平成24年12月1日

(11) 厚生労働大臣の定める施設基準等の届出状況

(平成25年5月1日現在)

区 分	届 出 年 月 日
地域歯科診療支援病院歯科初診料	平成 18 年 4 月 1 日
歯科外来診療環境体制加算	平成 20 年 6 月 1 日
歯科診療特別対応連携加算	平成 24 年 4 月 1 日
特定機能病院入院基本料 7:1(一般病棟)	平成 19 年 6 月 1 日
特定機能病院入院基本料 13:1(精神病棟)	平成 22 年 8 月 1 日
臨床研修病院入院診療加算	平成 23 年 8 月 1 日
救急医療管理加算	平成 22 年 4 月 1 日
超急性期脳卒中加算	平成 20 年 4 月 1 日
妊産婦緊急搬送入院加算	平成 20 年 4 月 1 日
診療録管理体制加算	平成 23 年 8 月 1 日
急性期看護補助体制加算 75:1(一般病棟)	平成 24 年 11 月 1 日
療養環境加算 第一病棟2階(皮膚科、放射線科)・RI病棟	平成 15 年 9 月 1 日
第一病棟3階(小児科)・ICTU	平成 15 年 4 月 1 日
第一病棟4階(消化器外科、乳腺外科、甲状腺外科、小児外科)	平成 11 年 5 月 1 日
第一病棟5階(呼吸器内科、腎臓内科、呼吸器外科)	平成 15 年 4 月 1 日
第一病棟6階(内分泌内科、糖尿病代謝内科、感染症科、神経内科)	平成 15 年 4 月 1 日
第二病棟2階(整形外科)	平成 11 年 5 月 1 日
第二病棟3階(産科婦人科)・GCU	平成 15 年 4 月 1 日
第二病棟4階(耳鼻咽喉科、麻酔科)	平成 11 年 5 月 1 日
第二病棟6階(脳神経外科、形成外科)	平成 11 年 5 月 1 日
第二病棟8階(神経科精神科)	平成 17 年 6 月 1 日
重症者等療養環境特別加算	平成 9 年 2 月 1 日
緩和ケア診療加算	平成 24 年 9 月 1 日
無菌治療室管理加算1	平成 24 年 4 月 1 日
がん診療連携拠点病院加算	平成 19 年 3 月 1 日
医療安全対策加算1	平成 18 年 4 月 1 日
感染防止対策加算1	平成 25 年 5 月 1 日
感染防止対策地域連携加算	平成 25 年 5 月 1 日
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	平成 18 年 4 月 1 日
ハイリスク妊娠管理加算	平成 20 年 4 月 1 日
ハイリスク分娩管理加算	平成 22 年 5 月 1 日
退院調整加算	平成 24 年 4 月 1 日
救急搬送患者地域連携紹介加算	平成 24 年 6 月 1 日
データ提出加算2	平成 24 年 10 月 1 日
救命救急入院料4	平成 22 年 8 月 1 日
特定集中治療室管理料1	平成 2 年 8 月 1 日
新生児特定集中治療室管理料1	平成 22 年 7 月 1 日
小児入院医療管理料4	平成 22 年 7 月 1 日
高度難聴指導管理料	平成 8 年 11 月 1 日
糖尿病合併症管理料	平成 21 年 10 月 1 日
がん性疼痛緩和指導管理料	平成 22 年 4 月 1 日
外来緩和ケア管理料	平成 24 年 9 月 1 日
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	平成 24 年 11 月 1 日
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	平成 25 年 2 月 1 日
糖尿病透析予防指導管理料	平成 24 年 6 月 1 日
外来放射線照射診療料	平成 24 年 4 月 1 日
がん治療連携計画策定料	平成 23 年 6 月 1 日
がん治療連携管理料	平成 24 年 4 月 1 日
肝炎インターフェロン治療計画料	平成 22 年 4 月 1 日
薬剤管理指導料(全診療科)	平成 13 年 9 月 1 日
医療機器安全管理料1、2	平成 20 年 4 月 1 日
歯科治療総合医療管理料	平成 20 年 6 月 1 日
造血器腫瘍遺伝子検査	平成 10 年 4 月 1 日
HPV核酸検出	平成 22 年 4 月 1 日
検体検査管理加算(Ⅱ)	平成 23 年 9 月 1 日
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	平成 12 年 4 月 1 日
植込型心電図検査	平成 22 年 4 月 1 日
時間内歩行試験	平成 24 年 4 月 1 日
胎児心エコー法	平成 22 年 4 月 1 日
ヘッドアップティルト試験	平成 24 年 4 月 1 日
皮下連続式グルコース測定	平成 22 年 4 月 1 日
長期継続頭蓋内脳波検査	平成 12 年 4 月 1 日
神経学的検査	平成 20 年 4 月 1 日
補聴器適合検査	平成 13 年 4 月 1 日
内服・点滴誘発試験	平成 22 年 4 月 1 日
センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)	平成 22 年 4 月 1 日
画像診断管理加算2	平成 14 年 10 月 1 日
ボジトロン断層撮影又はボジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	平成 20 年 6 月 1 日
CT撮影及びMRI撮影	平成 18 年 4 月 1 日
冠動脈CT撮影加算	平成 20 年 4 月 1 日
心臓MRI撮影加算	平成 20 年 4 月 1 日
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成 22 年 5 月 1 日
外来化学療法加算1	平成 20 年 6 月 1 日
無菌製剤処理料	平成 10 年 6 月 1 日
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	平成 22 年 5 月 1 日
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	平成 22 年 4 月 1 日
集団コミュニケーション療法料	平成 25 年 4 月 1 日
認知療法・認知行動療法1	平成 24 年 4 月 1 日

区 分	届 出 年 月 日
認知療法・認知行動療法2	平成 24 年 5 月 1 日
抗精神病特定薬剤指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	平成 24 年 4 月 1 日
一酸化窒素吸入療法	平成 22 年 8 月 1 日
悪性黒色種センチネルリンパ節加算	平成 22 年 4 月 1 日
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	平成 12 年 4 月 1 日
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	平成 12 年 4 月 1 日
人工内耳植込術	平成 8 年 11 月 1 日
植込型骨導補聴器	平成 25 年 2 月 1 日
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	平成 20 年 6 月 1 日
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)	平成 24 年 6 月 1 日
乳がんセンチネルリンパ節加算2	平成 22 年 4 月 1 日
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	平成 14 年 9 月 1 日
経皮的中隔心筋焼灼術	平成 16 年 4 月 1 日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成 10 年 4 月 1 日
植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	平成 22 年 4 月 1 日
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	平成 18 年 4 月 1 日
植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術	平成 9 年 10 月 1 日
経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)	平成 24 年 4 月 1 日
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	平成 20 年 4 月 1 日
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	平成 10 年 4 月 1 日
補助人工心臓	平成 9 年 10 月 1 日
経皮的大動脈遮断術	平成 22 年 4 月 1 日
ダメージコントロール手術	平成 22 年 4 月 1 日
腹腔鏡下肝切除術	平成 24 年 4 月 1 日
生体部分肝移植術	平成 10 年 4 月 1 日
腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術	平成 24 年 4 月 1 日
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	平成 24 年 4 月 1 日
腹腔鏡下小切開副腎摘出術	平成 20 年 4 月 1 日
腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	平成 20 年 4 月 1 日
同種死体腎移植術	平成 20 年 9 月 1 日
生体腎移植術	平成 20 年 4 月 1 日
膀胱水圧拡張術	平成 22 年 4 月 1 日
腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	平成 20 年 4 月 1 日
医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6 (歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	平成 18 年 4 月 1 日
・頭蓋内腫瘍摘出術等	
・黄斑下手術等	
・鼓室形成手術等	
・肺悪性腫瘍手術等	
・経皮的カテーテル心筋焼灼術	
・靱帯断裂形成手術等	
・水頭症手術等	
・鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	
・尿道形成手術等	
・角膜移植術等	
・肝切除術等	
・子宮付属器悪性腫瘍手術等	
・上顎骨形成術等	
・上顎骨悪性腫瘍手術等	
・バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	
・母指化手術等	
・内反足手術等	
・食道切除再建術等	
・同種死体腎移植術等	
・胸腔鏡又は腹腔鏡を用いる手術	
・人工関節置換術	
・乳児外科施設基準対象手術	
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	
・冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないものを含む。)	
・経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈粥腫切除術及び経皮的冠動脈ステント留置術	
輸血管理料Ⅰ	平成 24 年 4 月 1 日
自己生体組織接着剤作成術	平成 24 年 4 月 1 日
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成 24 年 4 月 1 日
内視鏡手術支援機器加算	平成 24 年 4 月 1 日
歯周組織再生誘導手術	平成 20 年 6 月 1 日
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	平成 24 年 4 月 1 日
麻酔管理料(Ⅰ)	平成 8 年 6 月 1 日
麻酔管理料(Ⅱ)	平成 22 年 4 月 1 日
放射線治療専任加算	平成 12 年 11 月 1 日
外来放射線治療加算	平成 20 年 4 月 1 日
高エネルギー放射線治療	平成 14 年 4 月 1 日
強度変調放射線治療(IMRT)	平成 23 年 10 月 1 日
画像誘導放射線治療(IGRT)	平成 23 年 5 月 1 日
体外照射呼吸性移動対策加算	平成 24 年 4 月 1 日
定位放射線治療	平成 17 年 5 月 1 日
定位放射線治療呼吸移動対策加算	平成 24 年 4 月 1 日
病理診断管理加算2	平成 24 年 6 月 1 日
クラウン・ブリッジ維持管理料	平成 8 年 5 月 1 日
入院時食事療養(Ⅰ)	平成 6 年 10 月 1 日

6. 平成24年度決算額等

(1) 医学研究科

イ 収入・支出

● 収入

単位:千円

区 分	収 入 額
運 営 費 交 付 金	1,637,977
自 己 収 入	541,657
授業料及入学金検定料収入	540,496
財 産 貸 付 料 収 入	1,030
雑 収 入	131
目 的 積 立 金	0
外 部 資 金 収 入	2,031,153
計	4,210,787

※外部資金収入には、前年度の繰越額を含む。

● 支出

単位:千円

区 分	支 出 額
業 務 費	1,943,653
人 件 費	1,618,831
教 育 研 究 経 費	324,822
一 般 管 理 費	41,369
外 部 資 金 事 業 費 等	1,065,017
計	3,050,039

ロ 外部資金受入れ状況

単位:千円

科 学 研 究 費		
研 究 種 目	課題数	交 付 額
基 盤 研 究 (A)	2	6,000
基 盤 研 究 (B)	8	23,400
基 盤 研 究 (C)	59	50,350
挑 戦 的 萌 芽 研 究	20	22,350
若 手 研 究 (B)	21	25,400
新 学 術 領 域	3	21,750
厚生労働科学研究費補助金	18	77,350
計	131	226,600

※課題数及び交付額には、研究分担者としての課題数及び交付額を含む。

単位:千円

寄 附 金	
件 数	金 額
541	585,310

※寄付講座運営費を含む。

単位:千円

受 託 研 究 費	
件 数	金 額
27	96,073

※受託研究費は病理組織・病理解剖検査、司法解剖料、死体検案料、受託研究員及び外国人受託研修員に関する経費を除く。

単位:千円

補 助 金	
件 数	金 額
4	95,884

単位:千円

民間等との共同研究	
件 数	金 額
12	13,370

単位:千円

受 託 事 業 費	
件 数	金 額
7,263	156,793

(2) 保健学研究科**イ 収入・支出****● 収入**

単位:千円

区 分	収 入 額
運 営 費 交 付 金	684,408
自 己 収 入	519,444
授業料及入学金検定料収入	519,444
雑 収 入	0
目 的 積 立 金	0
外 部 資 金 収 入	159,875
計	1,363,727

※外部資金収入には、前年度の繰越額を含む。

● 支出

単位:千円

区 分	支 出 額
業 務 費	1,013,312
人 件 費	840,856
教 育 研 究 経 費	172,456
一 般 管 理 費	22,939
外 部 資 金 事 業 費 等	66,904
計	1,103,155

ロ 外部資金受入れ状況

単位:千円

科 学 研 究 費		
研 究 種 目	件 数	交 付 額
基 盤 研 究 (B)	2	3,380
基 盤 研 究 (C)	5	4,940
萌 芽 研 究	12	15,860
若 手 研 究 (B)	14	19,714
計	33	43,894

単位:千円

寄 附 金	
件 数	金 額
28	10,854

単位:千円

受 託 研 究 費	
件 数	金 額
6	12,730

※受託研究費は病理組織・病理解剖検査、受託研究員及び外国人受託研修員に関する経費を除く。

単位:千円

民間等との共同研究	
件 数	金 額
1	400

▼医学部コミュニケーションセンター



(3) 附属病院**イ 収入・支出****● 収入**

単位:千円

区 分	収 入 額
運 営 費 交 付 金	1,885,030
施設・設備整備借入金及補助金	512,820
自 己 収 入	17,373,190
附 属 病 院 収 入	17,370,700
雑 収 入	2,490
目 的 積 立 金	404,293
外 部 資 金 収 入	931,725
計	20,702,765

● 支出

単位:千円

区 分	支 出 額
業 務 費	17,066,761
人 件 費	5,937,680
診 療 経 費	11,129,081
一 般 管 理 費	261,434
施設・設備整備費	512,820
長期借入金償還金	1,930,025
外部資金事業費等	551,276
計	20,322,316

ロ 外部資金受入れ状況

単位:千円

科 学 研 究 費		
研 究 種 目	件 数	交 付 額
基 盤 研 究 (C)	17	19,400
若 手 研 究 (B)	10	14,100
挑 戦 的 萌 芽 研 究	3	3,200
計	30	36,700

▼遠隔操作型内視鏡下手術システム「ダ・ヴィンチ」



単位:千円

補 助 金	
件 数	金 額
19	572,350

単位:千円

寄 附 金	
件 数	金 額
50	19,941

単位:千円

受 託 研 究 費	
件 数	金 額
122	101,682

単位:千円

民間等との共同研究	
件 数	金 額
0	0

単位:千円

受 託 事 業 費	
件 数	金 額
908	18,486

7. 土地・建物

(1) 敷地面積

(平成25年5月1日現在)

医 学 部	弘前市在府町5番地	} 本町団地 94,511㎡(保健学科含む)
附 属 病 院	弘前市本町53番地	

(2) 建物面積

イ 医学部

(平成25年5月1日現在)

区 分	構 造	延面積(㎡)	竣工年月日
基 礎 校 舎 (I 期)	$R_6 \cdot R_{2-1} \cdot S_2$	6,126	S42. 3. 27 (改修年月日H19. 3. 9)
基 礎 校 舎 (II 期)	$R_3 \cdot R_{2-1} \cdot R_6 \cdot R_2 \cdot S_{+1}$	4,929	S43. 3. 21 (改修年月日H20. 3. 28)
基 礎 校 舎 (III 期)	$R_{6-1} \cdot R_1$	3,445	S49. 7. 10 (改修年月日H21. 3. 27)
臨 床 研 究 棟 (北 側)	R_7	4,461	S48. 7. 6 (改修年月日H22. 3. 26)
臨 床 研 究 棟 (南 側)	R_7	5,895	S46. 3. 27 (改修年月日H21. 3. 27)
講 義 室 (基 礎)	R_{2-1}	1,035	S49. 7. 10
脳 神 経 血 管 病 態 研 究 施 設	R_3	1,491	S40. 3. 30
福 利 厚 生 施 設 (医 学 部 会 館)	$R_3 \cdot R_{+1}$	1,691	S50. 3. 26
動 物 実 験 施 設	R_{5-1}	4,894	S57. 3. 24
ア イ ソ ト ー プ 総 合 実 験 室	R_{1-1}	517	H11.12. 10
廃 液 処 理 施 設	$S_2 \cdot S_{+1} \cdot B_1$	322	S54. 3. 5
課 外 活 動 用 器 具 庫	$R_1 \cdot R_{+1} \cdot B_1$	204	S35. 3. 27
危 険 薬 品 庫	B_1	37	S45.12. 8
連 絡 橋	S_1	159	S52. 3. 23
福 利 ポ ン プ 室	B_1	7	S54.11. 20
廃 液 燃 焼 室	B_1	8	S57. 6. 30
臨 床 講 義 棟	R_{3-1}	1,118	H 6. 3. 31
車 庫	S_1	123	S45. 3. 25
医学部コミュニケーションセンター	R_2	894	H 8. 3. 5 (寄附年月日)
保 健 学 科 校 舎	R_3	1,527	S46.12. 17
//	$R_3 \cdot R_4$	4,518	S52. 3. 31
//	R_3	1,044	S53. 3. 20
//	$R_1 \cdot R_5$	2,978	S56. 4. 15
総 合 研 究 棟 (保 健 学 科)	R_{6-1}	5,185	H15. 3. 25
体 育 館	R_2	1,457	S54. 3. 22
弘 前 大 学 本 町 地 区 共 同 利 用 施 設	S_2	533	H16.12. 16 (寄附年月日)
渡 り 廊 下	S_1	104	H22. 8. 2
貯 留 室	S_1	198	H11.12. 10
合 計		54,900	

※面積は施設実態調査台帳を使用。竣工年月日は不動産台帳を使用。



▲附属病院正面外観

□ 附属病院

(平成25年5月1日現在)

区 分	構 造	延面積(㎡)	竣工年月日
第 一 病 棟	SR ₉₋₂	12,110	S63. 12. 15
第 二 病 棟	SR ₉₋₁ ・S ₊₁	14,123	H 4. 11. 12
外 来 診 療 棟	SR ₅₋₂	17,006	H19. 9. 21
旧 外 来 診 療 棟	R ₃ ・S ₃	912	S61. 7. 4
看 護 師 宿 舎	R ₄	2,350	S42. 3. 29
一 般 管 理 施 設	R ₄	2,435	S42. 3. 28
車 庫	S ₁	167	S46. 3. 27
ポ ン プ 室	R ₁	37	S43. 3. 25
工 作 室	R ₁	210	S60. 3. 25
エ ネ ル ギ ー セ ン タ ー	R ₈₋₂	2,924	H 8. 1. 5
中 央 診 療 棟	SR ₈₋₂ ・SR ₊₁	18,142	H11. 11. 8
高 度 救 命 救 急 セ ン タ ー	R ₂₋₁	2,411	H22. 4. 16
地 下 駐 車 場	R ₁	3,829	H23. 5. 20
渡 り 廊 下	S ₁	99	H23. 12. 26
合 計		76,755	

※面積は施設実態調査台帳を使用。竣工年月日は不動産台帳を使用。

8. 建物配置図





大学院医学研究科・医学部医学科／〒036-8562 青森県弘前市在府町5番地
 大学院保健学研究科・医学部保健学科／〒036-8564 青森県弘前市本町66番地1
 医学部附属病院／〒036-8563 青森県弘前市本町53番地

電話 0172-33-5111(代表)

発行:平成25年6月 編集:弘前大学医学研究科総務グループ